

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	新潟県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	小千谷市立小千谷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	5	5	4	4	4	2	30	41
児童数	184	157	181	143	147	126	10	948	

研究の概要

1. 研究主題

自分の学び方を確立し、確かな学力を身につける子どもの育成
------------------------------

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1～6年生・国語 年度の重点目標「自分の考えを進んで表現する子ども」に大きくかかわる教科であるため。 児童の実態調査の結果から、指導を改善する必要性を認めたため。</li> <li>・ 1～6年生・算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。 前年度の少人数指導の実践から、指導体制についての研究を深める必要性を認めたため。</li> </ul>
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	
--------	--

平成15年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語科、算数科における少人数指導を中心とした授業改善</li> <li>・ 研究体制の確立</li> </ul> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わかる、できる授業」「自ら学び、自らを見つめる授業」へと授業を改善していくため、少人数指導を中心として実践研究を進めていく。</li> <li>・ 研究の成果と課題を踏まえ、研究の全体構想、研究体制を確立していく。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数指導を中心とした指導体制の工夫 少人数指導推進計画に沿った実践を行い、使用した教材、資料、実践記録を蓄積していく。</li> <li>・ 「求める学びの姿」具現のための、教材、指導過程、評価の工夫（授業の改善） 一人一公開を原則として、授業研究を行う。</li> <li>・ 「確かな学力の向上」「学び方の確立」のための、授業以外の取組の工夫</li> </ul>
--------	--

学年テストなど全校共通の取組の他に、各学年で実態に応じた取組を工夫して実践する。  
 \* 授業研究での協議や外部指導者の指導、学力テストや児童・保護者・職員対象のアンケート調査結果の分析、地域・保護者との懇談をもとに、研究の評価を行う。

平成16年度

テーマ

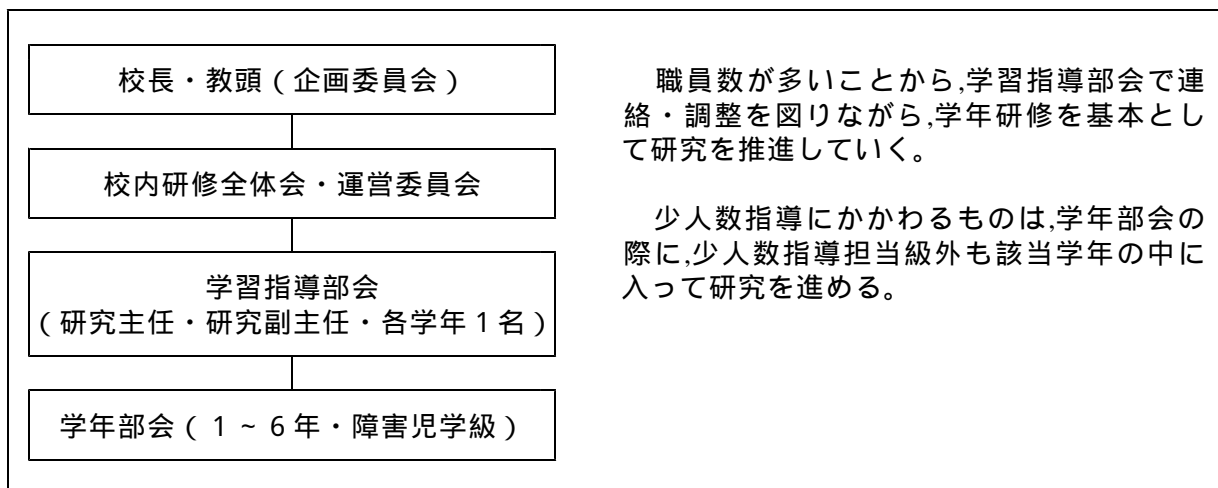
- ・「わかる,できる授業」「自ら学び,自らを見つめる授業」への授業改善研究の見通し
- ・求める学びの姿を具現するための教材,指導過程,自己評価の場と方法のあり方について,第1年次の成果と課題から検討した一定の仮説のもとに実践研究を進め,検証する。
- ・授業での学習意欲,学び方,自己評価力の高まりを家庭学習へとつなぐための指導のあり方について実践研究を進める。

研究の内容・方法

- ・指導体制,学年共同研究体制の工夫  
 単元の特性,児童の実態に応じた少人数指導の類型選択マニュアルを作成し,それに基づいた実践を進める。  
 P D C A の過程を学年共同体制で円滑に進めるための工夫について, 学年間の情報・意見交換を行う場を設定する。
- ・国語科,算数科における「求める学びの姿」具現のための,教材,指導過程,評価の工夫(授業の改善)  
 仮説に基づいた授業研究を行い,その有効性を探る。
- ・「確かな学力の向上」「学び方の確立」のための,授業以外の取組の工夫  
 学力,学習への意識,家庭での学習習慣等の実態分析を学年ごとに分析し,それに応じた取組を継続していく。

\* 授業研究での協議や外部指導者の指導,研究中間発表会での協議,学力テストや児童・保護者・職員対象のアンケート調査結果の分析,地域保護者との懇談をもとに,研究の評価を行う。

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

少人数指導を中心とした指導体制の工夫にかかわって

- ・単元の特性や児童の実態に応じた少人数指導の類型(形態,学習集団の質,導入の仕方の組合せ)を選択して推進することができている。(職員の95%が「できている」と

評価。)

・蓄積された実践記録をもとに、国語科・算数科それぞれについて、当校の実情に応じた少人数指導の方向性が見えてきた。

授業の改善にかかわって

・国語、算数とも「学習が楽しい」という児童の割合が増えてきている。

国語...昨年度11月：69% 本年度12月：86%

算数...昨年度11月：76% 本年度12月：89%

・国語、算数とも「学習したことがわかる」という児童の割合に大きな変容はないが、90%以上を維持している。

・児童の自己評価力が向上してきている。少人数指導において、「自分に合ったコースを選んでいる」という児童は、95%である。

・「学校での学習指導の様子に満足」という保護者の割合が増えてきている。

(7月：80% 12月：88%)

授業以外の取組の工夫にかかわって

・「宿題以外に家で進んで勉強をよくやる」という児童の割合が増えてきている。(6月：28% 12月46%)

・「自分の子どもの学力に満足」「学校での学習指導の様子に満足」「家庭学習の様子に満足」という保護者の割合が増えてきている。

子どもの学力.....7月：46% 12月：68%

家庭学習の様子...7月：36% 12月：58%

## 2. 今後の課題

少人数指導を中心とした指導体制の工夫にかかわって

・打ち合わせ時間の確保や効率化の手立てに検討を加える必要がある。

・来年度は児童数・学級数の増加により、職員数や教室数が不足し、本年度の体制を維持していくことが困難である。

授業の改善にかかわって

・「教材開発の目的、内容」、「指導過程への児童の自己評価の場の位置付けや方法」について、一定の仮説のもとに授業研究を推進する必要がある。

・学年の職員構成や個々の指導力の差に対処するため、特に学年間の情報交換の場の設定に努める必要がある。

授業以外の取組の工夫にかかわって

・家庭学習の具体的指導方法や家庭との連携のあり方について、さらに検討を加える必要がある。

## 学力等把握のための学校としての取組

CRT学力検査、学習指導改善調査(平成14年度)

NRT学力検査(平成15年度以降)

<目的> 学力実態の把握

<内容> 国語、算数の2教科について

<時期> 2月

児童向けアンケート調査

<目的> 児童の学習に対する意識、家庭学習の実態の把握

<対象> 3年生以上の児童

<内容> 国語・算数の2教科について「学習が楽しいか」「学習したことがわかるか」「少人数指導で自分にあったコースを選んでいるか」

家庭学習について「1週間に何時間くらい勉強するか」「宿題以外に進んで勉強することがあるか」

<時期> 6月、12月

(フロンティアアンケート：他校児童へのアンケート調査)

<目的> 児童の学習に対する意識、家庭学習の実態の把握と他校との比較

- <対象> 小千谷・北魚沼地区の小学校5・6年生  
 <内容> 国語・社会・算数・理科の4教科について「学習に真剣に取り組んでいるか」「授業はよくわかるか」「授業で学力がついてきていると思うか」「家庭学習について」「1週間に何時間くらい勉強するか」「宿題以外に進んで勉強することがあるか」、宿題や通塾の状況  
 <時期> 6～7月  
 保護者向けアンケート調査  
 <目的> 保護者の意識の把握  
 <対象> 全校児童の保護者  
 <内容> 「お子さんの学力に満足しているか」「学校での学習指導の様子に満足しているか」「お子さんの家庭学習の様子に満足しているか」  
 <時期> 7月、12月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第1回地域協議会

日時：平成15年7月22日(月)

日曜家族参観「トーキング谷小」

日時：平成15年11月16日(日) 12:35～16:20

会場：小千谷小学校

対象：小千谷小学校・上片貝小学校保護者、小千谷小学校旧同人  
 小千谷・北魚沼地区内の小・中学校

目的：当校の教育活動について説明し、評価と見直しを行う。

その他：フロンティアスクールとしての取組を紹介するパンフレットを作成し、配布するとともに、学区内の全家庭に回覧する。

学力向上フロンティアスクール 第1年次中間発表会

日時：平成16年2月4日(水) 13:35～16:40

会場：小千谷小学校

対象：小千谷・北魚沼地区内の小・中学校及び県内のフロンティアスクール

目的：フロンティアスクールとしての研究実践を地区内の各校に広めるとともに、参会者の意見をもとに研究の中間評価を行う。

ホームページにフロンティアスクールとしての取組を載せる。

第2回地域協議会

日時：平成16年2月17日(火) 予定

来年度1月に、「学力向上フロンティアスクール第2年次研究発表会」を開催予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校

【学校規模】  6学級以下  7～12学級  
 13～18学級  19～24学級  
 25学級以上

【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他

【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無